

公共交通を考えるワークショップ

## 第4回

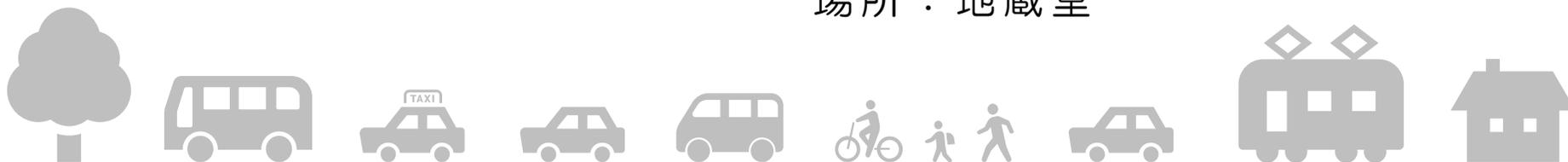
この地域のくらしの足を  
どうしたらよいか？

みんなで考える  
ワークショップ

東秋川橋西側区域

日時：平成31年1月26日（土）  
午後7時～午後9時（予定）

場所：地蔵堂



# ワークショップの実施にあたって

## 1) ワークショップの進め方

第1回（10月13日（土））・・・開催済み  
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（11月17日（土））・・・開催済み  
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（12月15日（土））・・・開催済み  
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に  
アンケート調査を実施予定

第4回（本日）  
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

# ワークショップの実施にあたって

## 2) 本日のワークショップで行いたいこと

第3回ワークショップのふりかえり

地区へのアンケート調査結果の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

グループワーク

(1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

(2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力し  
ていただけることはありますか？



## 第3回ワークショップのふりかえり

### 「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の確認

#### 1. この地区の交通サービスの目的（素案）

狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。

【いただいたご意見】 特になし。

#### 2. 主な利用者の想定（素案）

- ・ 自分で車を運転できない方
- ・ （将来）免許返納をした方
- （・ 車いすを利用している方）

【いただいたご意見】

- ・ 「自分で運転できない人」の中には、「乳幼児を連れている方」も含めて考えてほしい。
- ・ 表現が漠然としているので「自分で自家用車を運転できない方」など、表現を工夫すべき。
- ・ 「車いすを利用している方」を想定すると、小型車の運行は難しいのではないか。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

分類	サービス内容	備考
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。</li> <li>・移動販売車を呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応できる運転ボランティアの登録。</li> <li>・有償／無償は別途検討。</li> </ul>
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー代を補助する。</li> <li>・緊急時にも利用可能なものとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用券の配布。</li> </ul>
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワゴン車等の小型の車両で、決まった路線を運行する。</li> </ul>	
4) バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。</li> </ul>	

#### 【いただいたご意見】

- ・「3) 定路線型の交通」には、ワゴン車等だけでなく、電動カートを追加する。
- ・「5) ドアtoドアの交通」を追加する。
- ・「ボランティア等による運転（相乗り）」では、車いすへの対応をどうするのか。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

- サービス内容に関する具体的なご意見  
別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「サービス内容に関するご意見」（3ページ）をご覧ください。

- 交通サービスのメリットとデメリット  
次ページの概要をご覧ください。

※メリットとデメリットについて、詳しくは、別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「交通サービス（候補）のメリット・デメリット」（4ページ）をご覧ください。

## 交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見）

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>自家用車を使えば取り組みやすい。</u></li> <li><u>地蔵堂は自宅から近くて行きやすい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>事故が起きた時の責任を</u>どうするか。</li> <li><u>費用負担の考え方を</u>決める必要がある。</li> <li>リーダーがいらないといけない。</li> </ul>
2) タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>自分の行きたいところに行ける。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助にも<u>限度がある。</u></li> <li><u>誰にどの程度補助するの</u>かを考える必要がある。</li> </ul>
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワゴン車や電動カート等の小型の車両で、決まった路線を運行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>小さい車を使えば、空車だとしても経済的デメリットが小さい。</u></li> <li><u>分かりやすい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>運行本数が多くないと使</u>いにくい。</li> <li><u>行き先が限られる。</u></li> <li><u>遠回りが発生する可能性</u>がある。</li> </ul>
4) バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あれば便利。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車からバスに<u>乗り継ぐ人はあまりいない</u>のではないか。</li> </ul>
5) ドア to ドアの交通		<ul style="list-style-type: none"> <li><u>利用したいときに利用</u>できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><u>運賃が掛かる。</u></li> </ul>

# 地区へのアンケート調査結果の確認

## 1. アンケート調査の実施概要

### ○目的

区域にお住まいの方を対象に、公共交通に対する日ごろの考え方やニーズ、ワークショップで検討されている交通サービスの利用意向などについて、広く把握することを目的とする。

### ○調査対象

東秋川橋西側区域に居住する世帯 ⇒各世帯から1名  
(333世帯。性別・年齢構成に配慮して抽出)

### ○調査方法

郵送配布、郵送回収

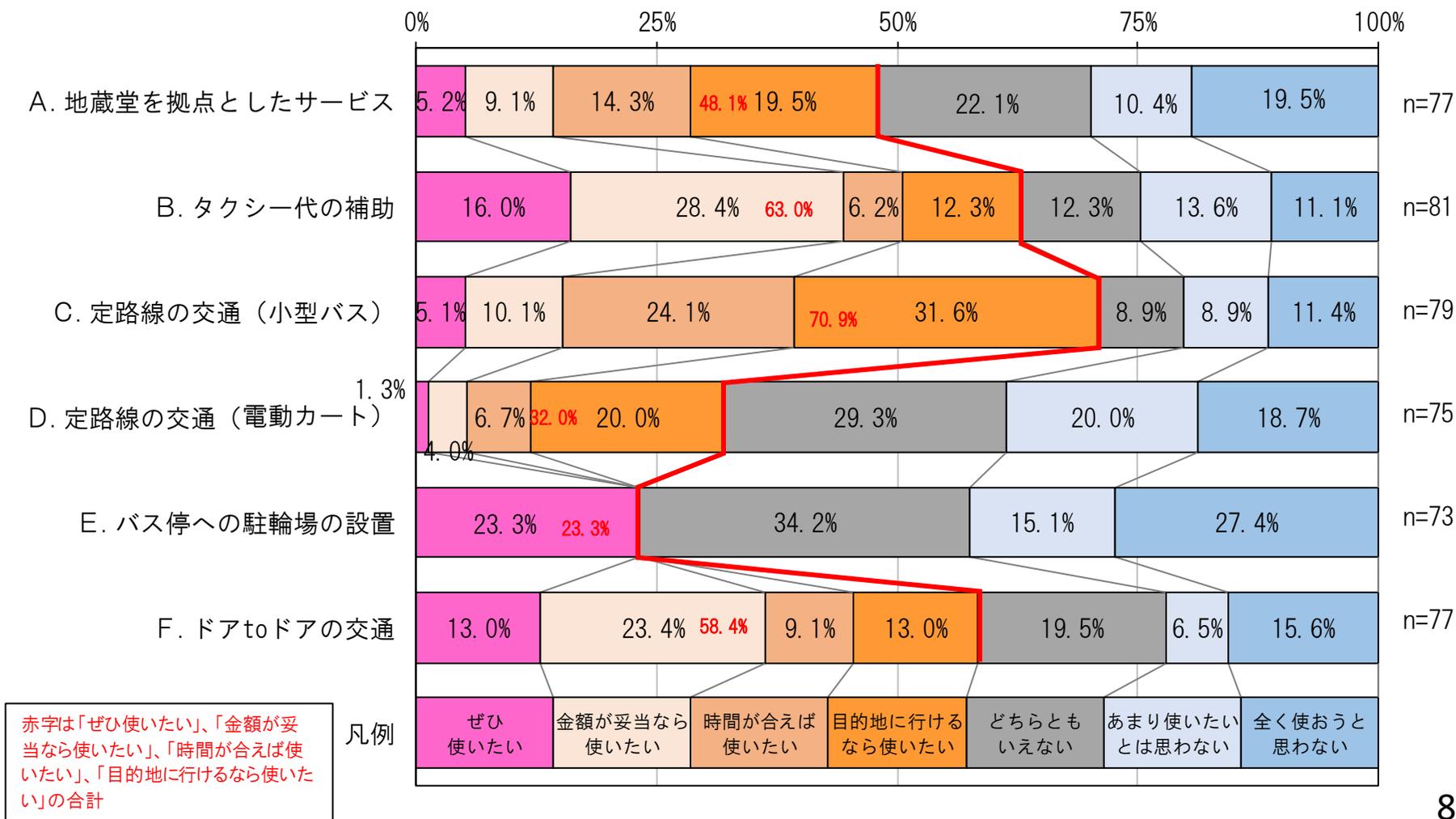
### ○調査期間

2018年12月20日～2019年1月7日

## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用したいサービス

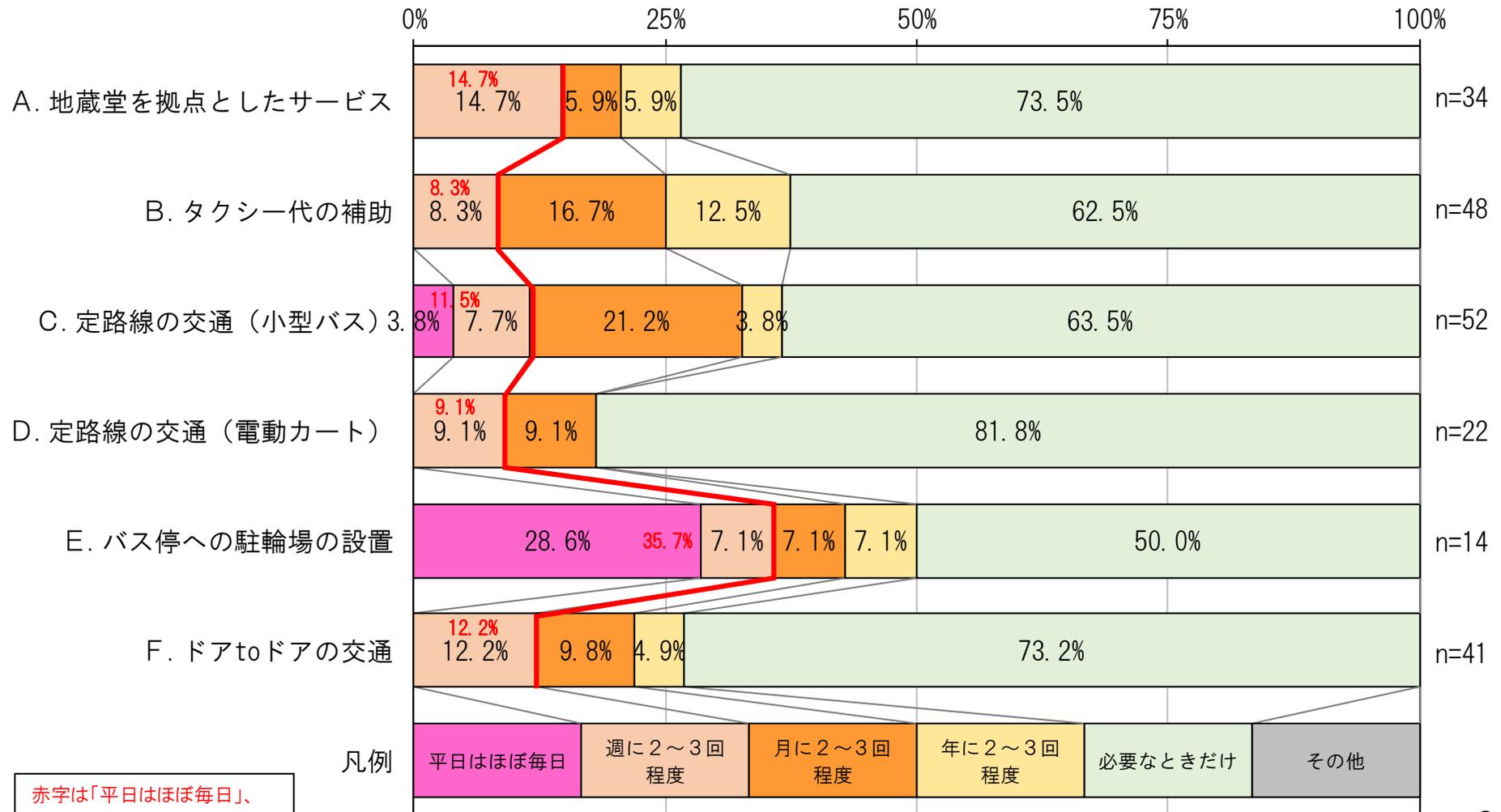
- 「使いたい」とする割合が50%を超えたのは、「C.定路線の交通（小型バス）」70.9%、「B.タクシー代の補助」63.0%、「F.ドアtoドアの交通」58.4%の3つです。
- 「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのは、「E.バス停への駐輪場の設置」の23.3%です。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用頻度 ……利用したいサービスについて、どのくらいの頻度で利用したいか

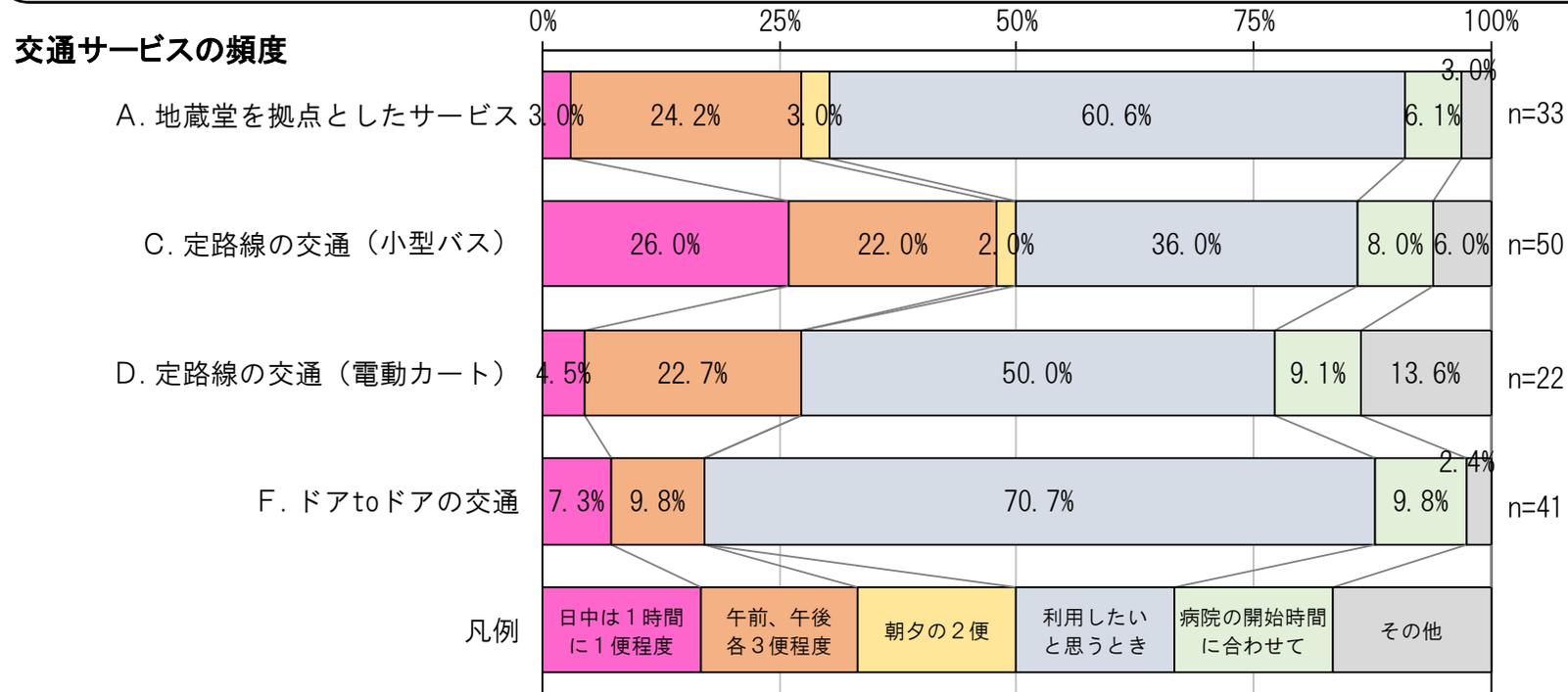
- 「週2～3回」以上利用したい人の割合が20%以上みられるのは、「E.バス停への駐輪場の設置」35.7%のみで、全体的な利用意向が高い「F.ドアtoドアの交通」では12.2%、「C.定路線の交通（小型バス）」11.5%と、いずれも1割強です。



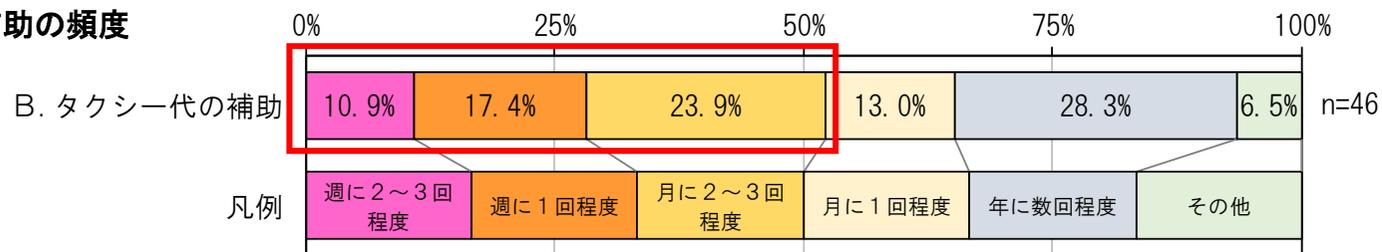
## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 運行頻度 …最低限、どの程度の頻度で運行されれば良いと思うか

- 「C.定路線の交通（小型バス）」に対して比較的高い運行頻度を求める傾向が強くなっています。
- 「B.タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできませんが、「月に2～3回程度」以上の頻度が、過半数を占めます。



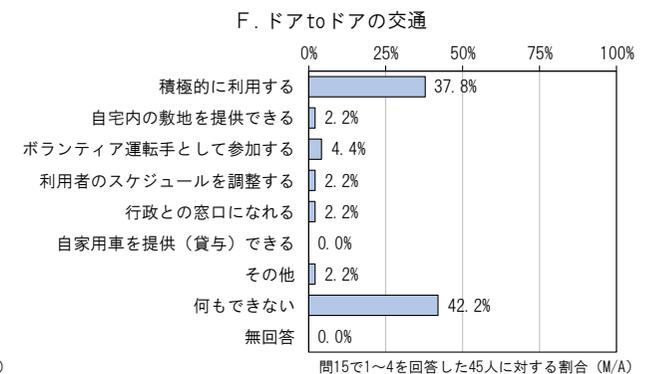
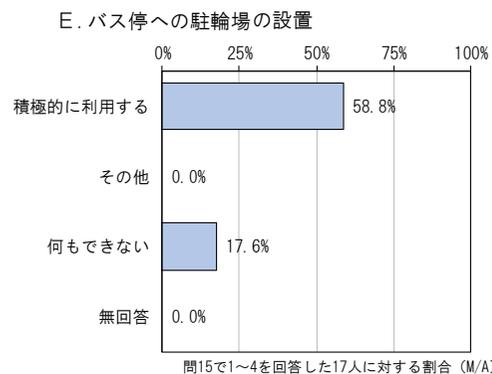
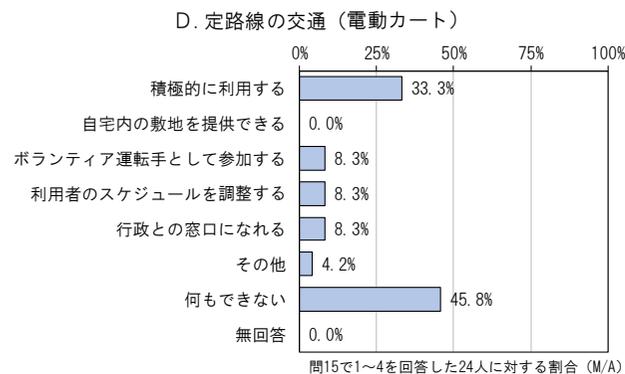
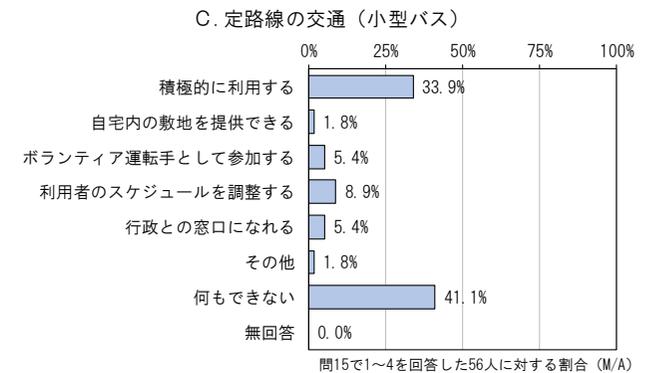
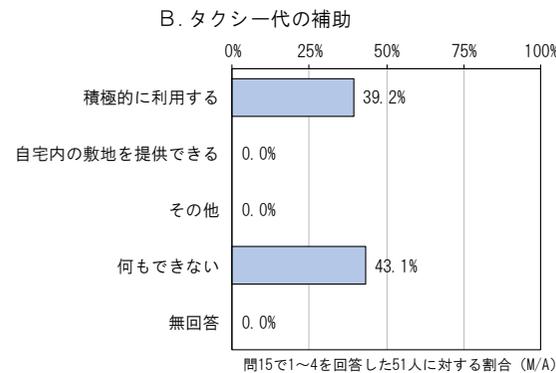
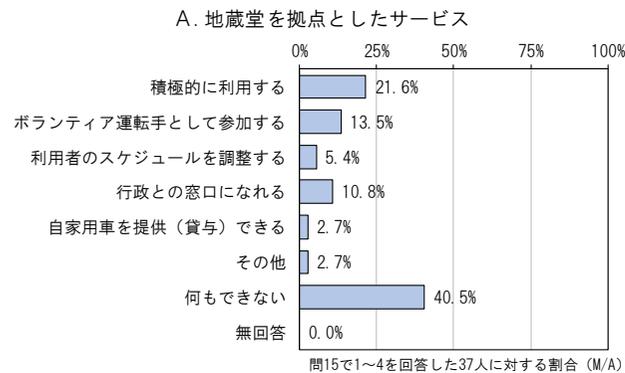
### ※タクシー代補助の頻度



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■輸送サービスに対する支援 ……どのような支援ができると思うか

- 「積極的に利用する」という人は「A.地蔵堂を拠点としたサービス」を除きいずれも30%以上です。
- 「A.地蔵堂を拠点としたサービス」は、「積極的に利用する」という人の割合は小さいですが、「ボランティア運転手として参加する」「利用者のスケジュールを調整する」など、運営側の支援に加われるという人がいずれも複数人見られ、かつ他のサービス候補に比べても割合が高くなっています。

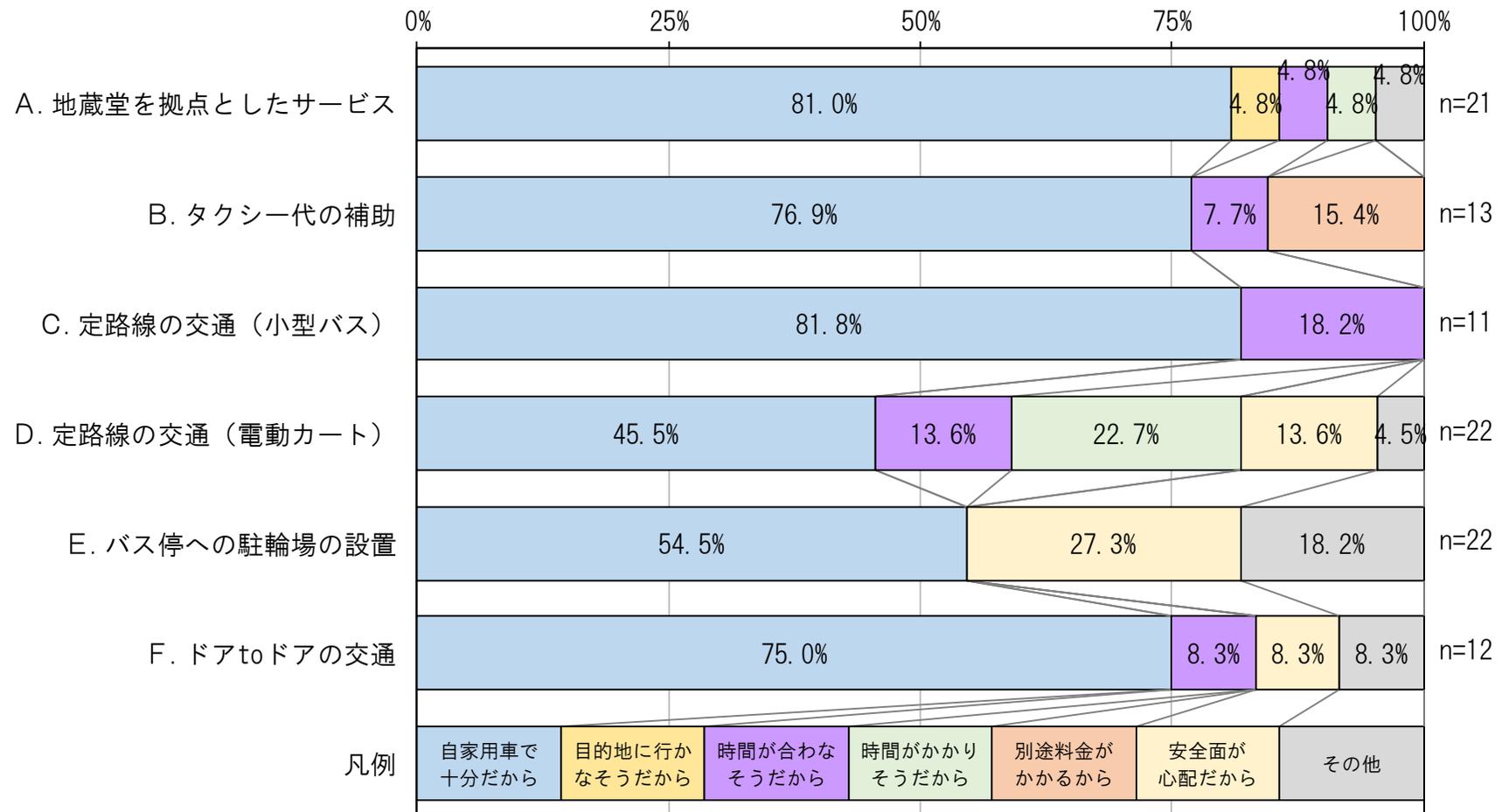


## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 利用しない理由

…「あまり使いたいとは思わない」「全く使おうと思わない」と答えたサービスについて、使わないと思う理由

- いずれも「自家用車で十分だから」の割合が最も高く、「D.定路線の交通（電動カート）」以外では過半数を占めています。
- 「D.定路線の交通（電動カート）」については「時間がかかりそうだから」が22.7%、「E.バス停への駐輪場の設置」については「安全面が心配だから」が27.3%といった意見が目立っています。



# この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

## この地区の交通サービスに関する地区の素案

### 1. この地区の交通サービスの目的

狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。

### 2. 主な利用者の想定

- 自分で車を運転できない方※
- (将来) 免許返納をした方

※「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方、乳幼児を連れている方などを幅広く含みます。

### 3. 交通サービスの候補

公共交通サービスの候補	想定されるサービス内容
① 地域の会館の役割を果たしている地蔵堂(小川555-1)を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	<p>地蔵堂を拠点とした交通サービスを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間に地域のボランティアが地蔵堂に常駐し、地域の方が相乗りできる車(自家用車又は専用車)の運転を行う。</li> <li>・利用者は地蔵堂に行くか、電話で送迎を依頼する。</li> <li>・定期的に地蔵堂にタクシーを着けてもらう。</li> </ul>
② タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー代を補助する。</li> </ul>
③ 定路線型の交通(小型バス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった路線で小型車(7~10人乗り程度の小型バス(ワゴン車))を運行する。</li> </ul>
④ 定路線型の交通(電動カート)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった路線で小型車(4人乗り程度の電動カート(電動小型低速車))を運行する。</li> </ul>
⑤ バス停への駐輪場の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスを利用しやすくするため、睦橋通りのバス停等の近くに駐輪場を設置する。</li> </ul>
⑥ ドアtoドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の近くから目的地まで、必要な時ときに利用できる車両を運行する。</li> </ul>

# 本日のグループワークについて

## 第3回ワークショップ

- この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
- それぞれの交通サービスのメリットとデメリット（良い面と悪い面）



## 第4回ワークショップ

この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓（交通サービスの6候補）

交通サービスの優先順位付け

### グループワーク1

交通サービス（候補）に優先順位をつけていただきます。



優先順位の高い交通サービス

協力していただけることの見出し

### グループワーク2

これらの交通サービスを入れる際に、協力していただけることをお聞きします。



# グループワーク（1）

交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

- 14ページに示した交通サービスの候補に優先順位をつけると、どのようになりますか？

グループワーク（1）の流れ（それぞれのテーブルで）

- 地区へのアンケート調査結果
- この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓ 総合的に判断

1) 回答用紙に、優先順位の高い交通サービス（上位3つ）の番号を記入

↓

2) それぞれのテーブルでまとめ

## グループワーク（２）

この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

- グループワーク（１）を踏まえて、優先順位が高い交通サービスを入れる際に、何か協力していただけることはありますか？

グループワーク（２）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) やることの確認



2) それぞれ付箋に記入。  
付箋を模造紙に整理し、テーブル内で意見出し。



3) それぞれのテーブルでまとめ。

# ワークショップのまとめ

## ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、  
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」ということについて、地区としての案をまとめました。



今後の取組を進めるうえでの検討材料として活用します。

### <今後の市の動き>

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域のうち、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。

（どの区域で実証実験を実施するかは現段階では未定です）

- ・実証実験の実施に向けて、各種の調整を進めてまいります。

